

保護者の方から、今の学習レベルでどの学校を選べばよいかわからないという質問を受けました。そこで、第10号では実力診断テスト、判定テストによる進路可能性の見方を説明します。

### ◆実力診断テストと実力判定テスト

本校では、4月に3年実力判定テスト、6月に3年実力判定テスト、1・2年実力診断テスト、10月に1年実力診断テスト、2年実力判定テストを実施しています。3年は国語、英語、数学、基礎・活用の4科目、1・2年は国語、数学、英語を受験します。その結果は、お子様を通じて保護者の方にも伝わっていると思います。

個人票に素点とともにGTZ（学習到達ゾーン）が載っています。ベネッセが実施する学力テストで「**進路可能性**」を示すモノサシです。普通高校が実施している模擬試験の**偏差値**に該当する指標で、全国規模での学力の比較ができ、合格可能性大学の判断材料になります。

### ◆GTZ（学習到達ゾーン）とは

おおむね偏差値65以上をA1とし、以下A2, A3, …, D2, D3と細かく区分されています。実際には大きく4つに分けて合格可能性の判断に用います。偏差値の区分は個人票に載っていますので、そちらをご覧ください。

#### ○ Bゾーン以上(A1, A2, A3, B1, B2, B3)

【地元国公立大, 人気私立大】 一般／推薦入試合格レベル

【全国企業, 上場企業】 全国規模の企業合格レベル, 高卒程度の公務員試験合格レベル

【看護・医療系専門学校】 一般入試合格レベル, 上記のレベルの学校, 就職へのチャレンジレベル

#### ○ Cゾーン(C1+, C1-, C2+, C2-, C3+, C3-)

【人気私立大, 看護・医療系専門学校】 推薦入試合格レベル

【地元企業】 地元人気企業合格レベル, 商業系の資格取得レベル

○ Dゾーン(D1+, D1-, D2+, D2-) 一部の私立大・短大入試や高校就職にチャレンジできる基礎学力は身につくつありますが、まだ十分とはいえません。

○ Dゾーン(D3+, D3-) このままでは、希望進路を実現できなかつたり、進学後の授業や就職後の仕事において、学力の面で苦勞する可能性があります。

このように、上位のゾーンにいるほど難易度の高いレベルの合格可能性が高くなります。本校の1, 2, 3年生の2015年第2回の実力診断／判定テストの3教科総合のGTZの割合は次のようになっています。Bゾーン以上の生徒は各学年とも11～13%ほどです。

C・Dゾーンの生徒でも、得意教科があつたり、小論文がうまく書けたり、面接で自分の意見をしっかり伝えた人の中には、合格を勝ち取った人もいます。しかし、学力が高いほど合格可能性も高くなるのは事実ですので、日頃の学習にしっかり取り組むことが大切なのは言うまでもありません。

私立大学や専門学校ではどうでしょう。各判定テストごとに志望校を書いて出すようになっています。その際に、ベネッセにより適正レベルの学校名が成績個人票に列挙されますので、それを参考にされるとよいと思います。また、進路資料室にはGTZに対応した、四年制大学、短期大学の一覧表が掲示してありますので、自分のGTZを基にして目標校を設定するのもよいでしょう。

## ◆就職とGTZ

就職とGTZには関係があるのでしょうか。就職試験に筆記試験が含まれる場合もあるので、やはり有利になります。ある年の事務職就職者の内、Bゾーン以上の教科を持つ生徒は43%でした。一方、製造職は34%、接客・販売業では35%でした。就職試験は面接で人柄やコミュニケーション能力などがみられるので、学力だけではありませんが、資格取得にもつながるので、こつこつと家庭学習に取り組むことが大事です。

就職、推薦入試の校内選考会議でも実力診断／判定テストの結果が判断材料になります。事前に配られる「学習・進路ノート」に真剣に取り組む、自分の可能性を広げましょう。

## ◆先輩からのアドバイス ～先輩の合格体験を聞く会より～

2月9日（火）の3限に2年生に対して**先輩の合格体験を聞く会**が行われました。選択の幅を広げたい人に対する講演と、医療系、情報系、経済・経営系の専門的な話を聞きたい人を対象にそれぞれ分かれ、3年生の進学者15名、就職者5名の約1時間の講演と質疑応答が行われました。以下にその内のいくつかを載せます。

〈会場の様子〉(↓A会場:芸術棟ホール)

(↓B会場:振商会館)



～合格体験談より(一部抜粋)～

### 今からできる準備は??

○自分が試験に受かるためにやってきてよかったことは、**2年生の時から部活動がある時も毎日少しずつ問題を解き、知識を増やせたこと**が良かったと思います。学校で行われている**公務員講座**もあるので取り組むといいと思います。

○まず夏休みの間は新聞の医療記事を切り取って、その記事の要約と、記事を読んで感じたことを400字にまとめるということをしました。また、朝日新聞の天声人語を切り取り、ノートに貼って医療に関連のある記事であれば要約と感想を書いていました。実際に第2希望の専門学校の入試で、**読んだことのある天声人語が出題**されました。いきなり小論文を書こうと思っても書けないので、**まずは新聞記事などを使って要約と感想をまとめ、文章に慣れることが大切**だと思います。

### 学校研究、企業研究が大切です!!

○面接試験について、いろんな質問の答えを考えておくのも大切だけど、**自分がなぜこの学校を選んだのかという動機をきちんと掘り下げて詳しく考えておくことも大切**。(実際本番に突っ込んで聞かれる)

○試験の対策は、図書室で無印良品(志望企業)の**本を借りたり、ガイアの夜明けという企業戦略のテレビ番組を見たりして、企業のことや商品のことを勉強**しました。

### 進路に迷っている人へ…

○進路を決定するとき、「自信がないからまあこれでいいかな…」という理由で選ぶと大体必ず後悔します。…自分が選びとった道を後悔してしまう道にするかしないかは、これからの自分の頑張り次第なのです。選んだら過去は振り返らずに自分の幸せに向かって精一杯考えてください。動いてください。「**迷ったら、自分が本当に進みたい道**」に勇気をもってチャレンジをしてください。自分の道を後悔してしまう道にならないようにいろいろと考えてみてほしいと思います。